

第1回文化経済部会での議論を踏まえた論点整理(案)

(1)基金・ファンドの課題

- インパクトファンド・ブレンデッドファイナンスの文化芸術分野における導入
- 観光と文化の間の資金還流の仕組みの構築

(2)企業版ふるさと納税・寄附制度の課題

- 既存制度（税制優遇）の周知拡大（ベストプラクティスの抽出）
- （一般企業向けの寄附について）企業にとっての経済的なインセンティブ設計
- 文化施設への投資に対する税制優遇の検討
- 企業版ふるさと納税の活用促進（出身者・関係人口の市町村と都道府県に対する愛着度の差（市町村がアイデンティティの基盤）等を踏まえた訴求戦略の確立）
- 民間資金導入の際の公私の線引き

(3)文化経済マネジメント組織(体制)の構築

- 文化経済マネジメント専門人材の育成
- 必要な人材の種類・機能の整理・可視化、それぞれへのアプローチ方法
- 文化芸術事業のビジネスモデルの可視化（事業評価方法の確立）
- バックヤードの共同化（事業者の経営効率向上）

(4)公共と民間の好循環

- 組織の垣根を越えた予算ミックスによる大きなモデル事例の創出（事業費ではなく運営費）
- 公的施設の予算獲得のインセンティブ付与、予算編成の在り方の再検討

（5）経済中心から文化重視への社会転換

- 一般市民・企業経営者の意識醸成・興味喚起方策検討
- 当事者を交えた政策形成等
- 税制・諸支援制度についての認知拡大